



発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

エレミヤの「慰めの書」。捕囚の民は、必ず帰ることのできる、エレミヤはこの書を「そのときには」（1節）と神の言葉を語り始める。それは希望の預言であり、復興の約束であった。事実この預言は実現する。BC538年、ペルシヤ王キユロスの勅令によってイスラエルはバビロンの捕囚から解放され、故郷への帰還が叶ったのだ。彼らの長い年月をかけての願いは、イスラエル王国の復興であり、都エルサレムの再建であり、主なる神の神殿の建築であった。そのことの実現はまさに「喜び祝え。諸国民の頭のために叫びをあげよ。声を響かせ、賛美せよ。」（7節）という言葉通りの力強く勇ましいもののはずであった。

その最も弱い者の歩みを、神は見捨てられない。「わたしは彼らを慰めながら導き、流れに沿って行かせる。彼らはまっすぐな道を行き、つまずくことはない」（9節）エレミヤはこう預言する。私は、この預言の言葉を聴く時、一つの短歌を思い出す。「コロ島を／船はいでたれば／いまは誰も／己が声にて日本語をいふ」。私が沖繩時代に牧師として働

瞑想

彼らは泣きながら帰ってくる。わたしは彼らを慰めながら導き、流れに沿って行かせる。彼らはまっすぐな道を行き、つまずくことはない。

エレミヤ29:7

主幹牧師 榎本 恵

母校満州医大に戻りました。さらに6月には引き上げが始まって、僕は家族とともに奉天から貨物車で錦州に、その何日か後にコロ島から船出して舞鶴に上陸したのでした。（コロ島より・70年）
胡芦（コロ）島とは、今の中国遼寧省にある島で、当時、日本に帰還する100万人あまりの邦人に唯一開かれた港であった。一夜にして敗戦国民となり、ソ連兵が進軍し、略奪や暴行が横行し、守ってくれるはずの軍隊も今はなく、故郷に帰りたくても、その術はない。そんな残留日本人にとつて、ようやく開かれた胡芦島への道行は、私たちの想像を絶するものであっただろう。この歌は、まさに不安と恐れの中にあつて、ようやく見出した希望の喜びを、読むものに

感じさせてくれる。エレミヤの「慰めの書」は、ただ単純な捕囚の身からの解放を喜ぶ預言ではない。それは、悲しみと弱さの中にあつて、しかし決して見捨てることなく、しっかりと寄り添い給う主の慰めである。
さて、この預言には続きがある。それは、イエス誕生の時、怒ったヘロデが、ベツレヘムの幼児を虐殺した出来事を、預言の成就とした箇所である。「主はこう言われる。ラマで声が聞える／苦悩に満ちて嘆き、泣く声が。ラケルが息子たちのゆえに泣いている。彼女は慰めを拒む／息子たちはもういないのだから」（15節）。救い主イエスの誕生とは決して似つかわしくない、嬰兒虐殺の物語。どうして、このような恐ろしい物語が聖書に描かれ、しかも「こうして、預言者エレミヤを通して言われていたことが実現した」（マタイ2:17）などと平気で書くことができるのか。そんな疑問がいつも頭をよぎる。
しかし友よ、この預言の言葉は、こう続いているのだ。「泣きやむがよい。目から涙を拭きなさい。あなたの苦しみは報いられる」（16節）「あなたの未来には希望がある」（17節）と。

第44回

山陰アシラムに参加して

宮本 裕子

2020年10月5日(月)〜6日(火)に真庭市の「蒜山バイブルキャンプ」にて、初めて「アシラム」に参加しました。「アシラム」のことは、聞いたことはありませんが、具体的にどのようなことをするのかは知りませんでした。参加を楽しみにしていました。今回のアシラムに参加することができたのは、安来教会の遠藤牧師との出会いがあったからです。私は2年半前に神学校を卒業し、現在、伝道師として真庭市の久世教会に遣わされています。初めての土地で、初めての人たちの中で、戸惑うことも多いのですが、新しい出来事や出会いを与えてくださる神様

の御業に驚いています。

2年半前に伝道師とされてから、説教を聴くことが少なくなりましたから、今回、お二人の先生の説教を3回もお聴きすることができたことは、大きな恵みでした。また、何よりも、兄弟姉妹共に祈り合うことによつて、霊的な恵みをたくさん戴きました。



「山陰アシラム」では、

はじめて会う方ばかりでしたが、すぐに、皆さんと話も弾み打ち解けることができました。クリスチャンは初対面であつても、皆、神の家族ですから、どこか懐かしい感じさえします。特に何度も祈り合つたファミリーの兄弟姉妹たちと出会えたことは感謝です。ファミリーの時間の中で、互いに祈りあう事の重要性を改めて実感しています。その上、帰つた後も、祈りを具体的に約束しましたから、とても心強く、神の御手にしつかりと掴まれた思いです。「朝の15分があなたを変えらる」の言葉通り、毎朝のレビの時間を守りたいと思います。

コロナ禍で様々な行事が中止になる中、「山陰アシラム」が開催されましたことは、感謝です。実際に顔と顔を合

わせて、共に食事し散歩に出かけ、共に賛美し祈ることが出来る。直接人と会うことの喜びを改めて感じています。来年の再会が楽しみです。来

年の「第45回山陰アシラム」が、また開催されますように、主のみ名によつてお祈り致します。(日本基督教団 久世教会 伝道師)

コロナ禍の工夫 「第46回新潟アシラム」

(紙上によるアシラム)

吉澤 昭男

新潟アシラムでは、毎年9月に榎本恵先生に来ていただき泊アシラムを実施しておりましたが、今年中止となりました。そこで、紙上アシラムを思いつき、紙上での分かち合いを致しました。榎本先生から、主題聖句と聖書の静聴箇所を示していただき、各自が自宅で静聴し、分かち合いは文章で送っていたら、さらに、アシラムの皆さんにお配りしました。

また、先生から主題聖句に関連した「不正な善い管理人」と題する説教原稿も送っていただきましたので、それも併せて送付しました。時間的制約のない中で、各自が静聴し、また、説教も読んで下さったことと、思います。原稿を送つて下さった方は12名でしたが、予想よりは少なかつたのですが、文章に書くとなると難しく感じる人、時間がない人、いろいろあると思いますし、やはり、アシラム集会は共に集まり、共に静聴し、共に祈り、共に分かち合うことが本来の姿なのかと思います。しかし、コロナ禍にあつて、一

つの試みとして取り組むことができたことは感謝でした。

分ち合いの文集を手にしたアシラムの友が、改めて、御言葉に聴くチャンスになれば、幸いです。次に、メンバーの小林恒雄兄の分ち合いの文章を紹介します。



昨年秋の、国際正義平和アシラムin札幌にて。後列左が吉澤師。家長のご奉仕。

主題聖句…

「あなた方は、神のさまざまに恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。」

I.ペテロ4…10

静聴箇所…

I.ペテロ3, 4, 5章

(日本伝道福音教団 新潟聖書教会) (新潟アシラム事務局)

新潟アシラム (紙上) 恵みの分ち合い

小林 恒雄

1・まず聖書を読んでの恵みを記します。

「それぞれが賜物を受けているのですから」

(I.ペテロ4章10節)

神によって無用なキリスト者はいない、喜寿を越えた私のような者にも、他者のために執り成しの祈りをするという役割が与えられている。宣教される方々のために。その他の奉仕をされる方々のために。また病める人たちのためにも心を込めて祈る。そしてそれが愛する主の栄光に役立つとしたらなんと嬉しいことでしょうか。

2・説教を拝聴させていただきます。

「魚の口にあつた銀貨」

(マタイ17章27節) についての神の経済のお話を聞きつつ、視覚障害者の私と虚弱体質の妻との50年余の中にも「魚の銀貨」の恵みの多かつたことを思い起こして御名を崇めました。

「不正な管理人」(ルカ16章1節より9節)の記事は私にも長年の疑問でありましたが、「誰一人悲しんでいません。みんな喜んで笑っています。」との説明は実に嬉しい納得でした。そして自分も不正な管理人であったことに気づかされました。「互いに仕え合う(愛し合う)」ことにおいてもっと熱心でなければならぬと教えられて、有益な紙上アシラムでございました。

(加茂福音キリスト教会)

2020年8月13日から15日まで「宝塚黙想の家」で行われた関西青年アシラムに参加した。青年アシラムに参加するのは4年ぶりだったが、緑豊かな黙想の家は変わらぬ佇まいでそこに存在しており、日常から解放される安堵感に包まれた。

加々美先生をお迎えしての今年の主題聖句は、マタイ福音書6章6節「隠れたところにおけるあなたの父に祈りなさい」だった。

加々美先生のお話、また静聴を通して、様々な雑事・仕事に追われていた日常のなかでは見えていかなかった神様の御言葉が迫ってきた。神様は隠れたところにおいて、いつでも見守っていてくれていることに改めて気付かされた。こんな不信仰ものでも見捨てず、再びアシラムの場面に導いてくださったことに感謝の思いがあふれた。

今回、静聴により一番大きく示されたことは「神様からの評価、報いが真実なのだ」ということだった。人からの評価、報いばかりを追い求めていたが、そこに執着し、一喜一憂していたので、心が軽くなった。

日々、喧騒の多い世の中にいると、眼がくもって大切なことが見えなくなるが、神様との対話である祈りが、澄んだ心を持つためにどれだけ大切なことなのかを知ることが出来た3日間だった。

「50年もいっしょに過ごす神さま」 証 杉山英理 (大阪一麦教会)



に感謝の思いがあふれた。

今回、静聴により一番大きく示されたことは「神様からの評価、報いが真実なのだ」ということだった。人からの評価、報いばかりを追い求めていたが、そこに執着し、一喜一憂していたので、心が軽くなった。

日々、喧騒の多い世の中にいると、眼がくもって大切なことが見えなくなるが、神様との対話である祈りが、澄んだ心を持つためにどれだけ大切なことなのかを知ることが出来た3日間だった。

今回、静聴により一番大きく示されたことは「神様からの評価、報いが真実なのだ」ということだった。人からの評価、報いばかりを追い求めていたが、そこに執着し、一喜一憂していたので、心が軽くなった。

日々、喧騒の多い世の中にいると、眼がくもって大切なことが見えなくなるが、神様との対話である祈りが、澄んだ心を持つためにどれだけ大切なことなのかを知ることが出来た3日間だった。

今回、静聴により一番大きく示されたことは「神様からの評価、報いが真実なのだ」ということだった。人からの評価、報いばかりを追い求めていたが、そこに執着し、一喜一憂していたので、心が軽くなった。

日々、喧騒の多い世の中にいると、眼がくもって大切なことが見えなくなるが、神様との対話である祈りが、澄んだ心を持つためにどれだけ大切なことなのかを知ることが出来た3日間だった。

今回、静聴により一番大きく示されたことは「神様からの評価、報いが真実なのだ」ということだった。人からの評価、報いばかりを追い求めていたが、そこに執着し、一喜一憂していたので、心が軽くなった。

アナニアとサフィラ ④ (無教会 岡山キリスト集会京都大学在学中) 香西 信

香西師発行のマラナ・タより (第45回年頭アシュラム早天祈祷会での聖書講話に加筆)

信じた人々の群れは心も思いも一つにし、

一人として持ち物を自分のものだと言うものはなく、すべてを共有していた。

(使徒言行録 4:32)

4. 罪人としての人間の限界

裕福な個人の信徒がその財産を売ってお金を教会に差し出していました。これが古代教会の特徴であって、そこに深刻な問題が生じてきたのだと思います。実はその仕組みは今の教会団体と何ら変わるところはありません。おそらくその仕組みは様々な問題を孕んでおり、矢内原先生は厳しいですけれども、次のように指摘をされています。

カトリックを見よ、本願寺を見よ、天理教を見よ。屋敷を払い田を売ってその金を本山の足元に置くことが最大の宗教的な徳として奨励され、そうして集めた金をもって広大な本山の建物を建て、多数の職業的宗教家を含む本山の組織を維持し、宗教団体をして民衆搾取の機構たらしめるものは、実にこの信仰を道具として作りあげた消費共有の教理ではないか。

教会といえども必ず組織ができるとういう問題というのは付きまとう。いくらそれが理念として純粋な祈りを中心とした清廉な共同体であったとしても、必ず集団ができ組織化されるとこういう問題に直面せざるを得ない。これはどんな教会だってあると思います。聖なる教会と言っても所詮人間の集団である以上、人間の限界、それは人間の罪人としての限界を持たざるを得ないということ。それを聖書は冷静な目でここに書いているのではないかと思います。

マラナ・タ 第65号 2020年2月より (続)



↑福岡聖書教室。久しぶりに、会場で。



←シメオン黙想の家、アプローチ完成間近。広い庭に散乱していたレンガを拾い集め、玄関前に敷く作業、黙々と。



↑和子母95歳との早天祈祷会は宝!



→三重から、嬢様そばの茨城に移られた小林ご夫妻を訪ねて。再会に感謝。(日光オリーブの里アシュラム行き途中)



←広野祈りの家。半年以上休み、やっと開催。祈りが聞かれ。

いよいよ今年度も、残すところ1ヶ月となった。しかし、誰がこの年のことを予想できたであろうか。もちろんコロナの問題は、私たちアシュラムセンターにとつても、大きな困難となったが、それよりも何よりも、この時期に新しい「シメオン黙想の家」を始めることとなるのは、想像すらしていなかった。本当に神様のなさることは不思議だ。いよいよ来年度の計画が立てられつつある。この「シメオン黙想の家」そしてお隣の「アシュラムセンター」の修道場アシュラムを再開させる予定だ。少人数で、顔と顔を合わせ、み言葉に聞き、祈り、交わりを持つ。コロナ後の新しい日常に対応した、少人数でのアシュラム集会。これを行なうて行きたいのだ。どうか、全国のアシュラムの友が、共に集い、あの救い主を待ち望み、幼子イエスを抱き上げた、シメオン、アナニアとして、ここへ来られることを願っている。主に全てをお委ねして。(恵)

あとがき

主幹牧師の2019年度の振り返りと2020年ビジョン(6)

2020.1月記

3) アシュラムセンター開設50周年記念事業について

さて、今年2020年は、アシュラムセンター開設45年の年です。いよいよ5年後の2025年には、アシュラムセンター開設50年を迎え、この年頭アシュラムも50回になります。まだまだ先のように思えますが、その時を前にして、今から準備を始めて行きます。もちろんアシュラムの集会が中心になるとは思いますが、この喜びと感謝をできるだけ多くの人たちと分かち合いたいと願っています。そのための準備を今年度より始めて行きます。



来年開催予定の、国際正義平和アシュラム
打ち合わせ。新潟の会場にて。
新潟アシュラムの方々。

4) 国際正義平和アシュラムと海外アシュラムについて

報告にもありましたように、昨年札幌で開かれました「第16回国際正義平和アシュラム」は大なる祝福のうちに終えることができました。

今年は、2月17日より台湾高雄で開催されます。また、来年の日本開催は、新潟アシュラムの友の協力を頂き行うことが決定しております。このことも覚え、ぜひ祈りのうちに入れていただきたく願っております。

また、台湾のキリスト教新聞に、私のコラムを翻訳したものを連載していくことが、決まりそうです。前回の北海道でのアシュラムについて書かせていただき、それを読んで参加された方もいらっしゃいました。

ブラジルのアシュラムは、隔年ごとの訪問です。今年はいく予定はありません。ニュー

ヨークでのアシュラムについては、今現地の教会と調整中です。どうか、海外にあるアシュラムの友を覚え祈りを合わせてくださいますように。

以上が今年度の主幹牧師のビジョンであります。もちろん、この他にも、様々なことが起こってくることでしょう。しかし何があろうとも、神の言葉だけがとこしえに立つことを信じ進んで参ります。

最後になりましたが、一昨年クリスマスに、常任運営委員長の後宮俊夫牧師を天に送り、空席のままになっていた常任運営委員長並びに代表役員を楢田速明兄に引き継いでいただけることになりました。先程の楢田兄の決意表明にもありますように、主が用いてくださることを信じ祈ります。アシュラムセンターは、人間の知恵や力に頼るのではなく、神にのみ頼り運営されていくことを続けてきました。それは決して容易いことではありません。しかし、これこそが私たちの守るべき姿勢であります。

最後に、初代の常任運営委員長松山嘉蔵兄のお書きになった文章を読ませていただきます。どうか、アシュラムセンターを覚えお祈りください。私たちが祈っております。

2020年1月24日

アシュラムセンター主幹牧師 榎本恵



シメオン黙想の家、二階に3部屋ある個室。
家具も整いつつあり、黙想できます。

オンラインに変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。

| 11月の聖書教室など | |
|------------|-------------------------------------|
| 3(火) | ZOOM聖書教室 (ZOOM AM10:30、PM7:30) |
| 6(金) | 阪神ミアシュラム (主恩教会 PM1:00) |
| 9(月) | 福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30) |
| 14(土) | 聖書と学ぶ会 (自称?若者向) (ZOOM PM8:00) |
| 15(日) | ちいしば牧師記念チャペル夕礼拝 (PM5:00) |
| 17(火) | 大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30) |
| 18(水) | カフェちいしば聖書入門講座 (シメオン黙想の家 PM1:30) |
| 20(金) | センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00) |
| 23(月) | 静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:00) |
| 24(火) | 東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30) |
| 12/1(火) | ZOOM聖書教室 (ZOOM AM10:30、PM7:30) |
| 12/4(金) | 阪神ミアシュラム (主恩教会 PM1:00) |

【主な問い合わせ先】
0748-33-4030
アシュラムセンター

参加者大募集!
お申し込みは
ホームページにて!

| 11月のアシュラムなど | |
|----------------|--------------|
| 19(木) 20(金) | 第44回 阪神アシュラム |

中止

| 12月のアシュラム予定 | |
|-------------|--|
| 2(水) | 第10回 合同平和 祈禱会 神戸イエス団教会 4Fメモリアルホール PM5:30~ 奉仕者 岩村義雄師 (神戸国際キリスト教会牧師) |
| 12(土) | シメオン黙想の家 完成感謝会 |

| 1月以降のアシュラム予定 | |
|-------------------------------|--|
| 2021年 1/ 21(木) 23(土) | 第46回 年頭アシュラム in 滋賀 (琵琶湖コンファレンスセンター 滋賀県彦根市) 奉仕者 貴村かたる牧師 (日基天門教会) 榎本恵牧師 (アシュラム連盟事務局) (アシュラムセンター主幹牧師) |

クリスマス献金をお願い

イエスは主なり。
いつも皆様方のお祈りお支え感謝します。この時期になるといつも心苦しく申し上げにくい献金をお願いを、しかも特にコロナの影響で経済的に大変な時にさせていただくことをお許しください。
どうかアシュラムセンターの働きを覚え、お支えください。よろしく願いいたします。皆様のこともお祈り続けております。シメオン黙想の家に灯りがともりました。感謝です。 榎本恵

詳しい
ご案内は
次号で!



みことば



日本基督教団 安来教会牧師
山陰アシュラム推奨者
遠藤 誠一

シメオン庭の
ミョウガ達。

「祈りについて」20年ぐらい前から数年間、保田みゆき牧師から深沢教会の「バイブルアカデミー神学院」で学んだことを、記してみたいと思います。
(保田みゆき牧師は引退されました)

③求めなさい (4)

イエス・キリストの祈りは、私たちの道であり、模範であり、真理です。誰でも、命のための祈りであるなら、口が渴いて、のどが裂けるほど、切に求めるのではないのでしょうか。主イエスが、求めなさいと言われたのに、悪魔は「そんな必要はない。だまって座っていても、神があなたに下さるでしょう」と偽ります。しかし、だまされてはいけません。神がいつ、あなたがだまって座っていても、必要とするものを与えて下さると約束されましたか。このようなことは信念であり信仰ではありません、悪魔から誘惑を受けた信念です。だまされてはいけません。

主イエスは「求める者に下さる」と言われました。「祈りと願いで求めなさい」と言われる方は、主イエスであり、「そんなことはない。愛が多い神は、求めなくても、あなたに与えて下さる」と偽りで欺く者は、悪魔です。

神のひとり子も、必ず祈りと願いをされ、聖霊も信徒を助けるために言葉にあらわせない切なるうめきをもって、私たちのためにとりなして下さいます。神は聖霊の考えを知って、共に働くとして記録されています(ローマ8:26-28)。一度、祈りの目標を定めたら、必ず受け取るまで切に求めましょう。夜を明かして、再び昼が明るくなる時まで、切に求めましょう。切に求めて落胆してはいけません。

イエスが、比喩で教えられたところがあります。不義な裁判長に、自分の恨みを晴らして下さいとひたすら頼む寡婦からの求めが煩わしくて、彼女の願いを聞き入れたと言われました。まして神は、日夜、叫び求める選民のために、恨みを晴らして下さいと下さらないことがあろうかと言われました(ルカ18:1-8)。私たちはこの肉体によって、創造主である神の御前に行き、その方を感動させようとする者です。私達の肉体の目には見えませんが、私たちに哀れみを施される方のところに行き、自分の体がとけて、神と一緒にいる時まで、祈りに命をかけようではありませんか。私たちの重荷を、日々担って下さる方に求めましょう。

祈りは人間ができる最高で最後の手段です。この手段以外に、他の方法がありません。最後の道です。この時、神から祈りの答えを受けなければ、他の道があるでしょうか。神が、耳を傾ける時まで、その方が、解放して下さる時まで、祈りが自分の命となっていなければなりません。

祈りを惜しんではいけません。祈りは生命を得るための、肉体を持った信徒の最後の勝負の一手です。何はともかく、力を尽くして、ますます切に祈り求めましょう。

(次号につづく)